

草の根会議 運営委員会議事録

日時 2010年3月4日(木) 15:00~18:00

場所 法政大学

参加者 荒井、野元、布施、持丸、小荒井、栗山

記録 小荒井(2010年3月6日)

(以下の記述の4月10日研究会(報告会)のプログラムは、この運営委員会後、再調整し、別紙にてご案内のスケジュールに変更されましたので、ご注意ください。ここに記述されている内容はあくまで、検討途中経過のものです。

荒井容子 2010.3027)

1. CONFINTEA VI 報告会について

- 三宅さん、荒井先生の提案を検討。2月(NIER)、6月(学会)に同様の報告会があることから、4月の報告会では、CONFINTEA VI の報告というよりは、CONFINTEA VI の成果文書を、市民社会組織レポートを執筆した各分野の草の根会議の人たちがそれぞれどのようにとらえるか、フォローアップをどのようにしていくかを重視する。ベレンに行った人以外の参加・発言をどう促すかが課題。以下が議論された案。黄色が未定。

日時： 2010年4月10日(土) 13:00~17:00 (開場時間は? 12:30?)

場所： 法政大学(市ヶ谷キャンパス) ポアソナードタワー24階 B 会議室(40名収容可)

目的： CONFINTEA VI の成果と課題の共有 今後のフォローアップの方策の検討

司会・進行： 布施さん(持丸さん、河野さん、小荒井が必要に応じて補助)

内容

13:00 開会のあいさつ(荒井先生?)

13:05~13:30

第一部： CONFINTEA VI 報告

1. CONFINTEA VI の概要と草の根会議の取り組み(荒井先生:15分)
2. 成果文書内容の紹介(布施さん:10分)

13:30~15:30

第二部： 討論 「成果文書の意義と課題について」(それぞれの分野において)

発言内容・予定者：

1. 日本政府の取り組み(笹井先生・岩佐さん・神代課長)
2. 公民館について(?)
3. 移民労働者・民族的マイノリティ(?)

- 4 . 識字教育・日本語学習・夜間中学（せきもとさん）
- 5 . 開発教育と社会教育・成人教育（湯本さん）
- 6 . CSO のロビーイングと開発途上国における日本の成人識字教育協力（三宅さん・小荒井）
- 7 . GRALE など国立教育政策研究所の視点（立田先生）

上記の方には事前に発表を依頼する。5分は短いので10分以内は時間をあげたらどうか。

* そのほか、当日ご参加の皆さんに自由にコメントをいただく（5分以内）。

15:30~15:45 休憩

15:45~16:50

第三部 CONFINTEA VI のモニタリング・フォローアップの立ち上げ

（草の根会議としての今後のモニタリング・フォローアップ体制・方法の確認）

- 1 . モニタリング・フォローアップ案の提案（野元先生）
- 2 . 自由討論：今後のアクション、時期の決定

16:50 閉会のあいさつ（荒井先生？）

●配布資料

- （1）報告会プログラム
- （2）発表レジュメ
- （3）成果文書日本語（仮訳）
- （4）CONFINTEA VI プログラム
- （5）CSO コーカス提言書
- （6）CSO コーカスの会議後の声明

●必要なもの

- （1）コンピューター
- （2）プロジェクター
- （3）White Board??

●その他決定が必要な事項

- （1）広報（一般の人にも一応公開するため、各団体からお知らせを流してもらう必要。したがって案内文を至急作成必要）

- (2) 申し込み先： ？
- (3) 参加者リスト？
- (4) 受付？
- (5) 第二部で発表予定の方、および第三部の野元先生には発表資料を準備いただき事前に荒井先生に送付、印刷準備していただく？

● スケジュール

- 3月12日 発表者確定
- 3月15日 案内文確定、広報開始
- 4月3日 申し込み締め切り
- 4月8日 発表レジュメ締め切り、印刷準備

2 . 成果文書和訳について

- Annex を除き、荒井さん、布施さん、河野さん、小荒井で下訳済み。しかし時間がなく討議できず。メールベースで運営委員に流しコメント取り付け。荒井先生、布施さん、河野さんの都合のよい日で日程調整、3月に討議。他のメンバーは都合がいたら参加。
- 4月10日の報告会までに議論が十分に尽くせない可能性があるため、報告会では「仮訳」として配布。

3 . CONVINTEA VI 報告書について

- 討議できなかったので次回討議要。

以上